

地区内外の連携で美しい棚田景観を後世へ — 景観保全機能 —



「蕨野棚田」の風景



復旧前の耕作放棄地



復旧後の棚田



佐賀大生等が田植



ブランド米「棚田米蕨野」

わらびの 蕨野集落

標高 140~420m、平均傾斜 25%の急斜面に、700 枚の棚田が連なる蕨野地区は、平成 20 年に棚田では全国初の国の重要文化的景観に選定されている。

約 36ha の石積み棚田の景観と歴史的価値のある棚田の文化を守るため、平成 13 年に住民有志が設立した「蕨野棚田保存会」など地域の各組織や J A、佐賀大学、都市住民、N P O など様々な団体が連携し、荒廃田の復旧、水路清掃などの棚田保全活動や、棚田ウォーク、菜の花ハイクなどの都市住民との交流事業を展開している。

また、地区内の 17ha で生産した特別栽培米をブランド化し、「棚田米蕨野」として地域の直売所やイベントに合わせて販売し、地域活性化と活動の継続により棚田が持つ多面的機能の発揮につなげている。



佐賀県唐津市

【景観の保全、洪水防止、土砂崩壊防止、土壌侵食防止】

美しい棚田景観を次世代に引き継ぐため、同集落と佐賀大学農学部は交流協定を結んでおり、同大学の学生や市民ボランティアなどが「棚田援農隊」を結成し、荒廃田 85 a を復旧して水稻を作付けしたり、水路の草刈りや泥あげを行うなど地区住民と一緒に棚田の保全に取り組んでいる。

また、本地区には企業も草刈り作業のボランティアで入り、作業後は地元住民と昼食を共にするなど交流も行われている。

【地域社会の振興】

「棚田米蕨野」は、佐賀県育成品種の「夢しずく」に統一し、源流のきれいな水と昼夜の寒暖差が大きい自然条件の下で栽培することで、安全で、味が良いことに加え、化学肥料と農薬を抑えた県の特別栽培農産物の認証を受けて、地元の直売所やイベントで販売されるほか、デパートの試食販売を通して販路を広げている。

また、蕨野棚田保存会、生産組合、婦人会など蕨野集落の各組織からなる「棚田と菜の花実行委員会」は、6 月の「早苗と棚田のウォーク in 蕨野」を含め、年 2 回の交流イベントを開催。例年約 400 人が参加している。

蕨野集落の主要イベント



「早苗と棚田のウォーク in 蕨野」



「菜の花ハイクと屋台村」